

麻疹患者が国内で増加しています

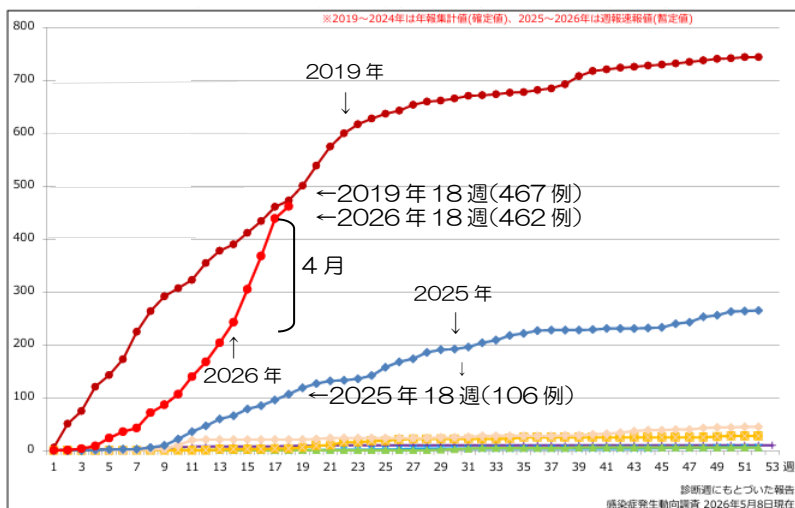
現在、国内において患者報告数が増加しています。令和8年の麻疹患者報告数は462例に達し、第18週時点で、近年で最も大きな流行であった2019年（第18週時点で467例）に迫る患者報告数となっています。（図1参照）

特に4月に入ってからの報告が増えています。報告の中心は関東地方ですが、関西地方でも合計19例報告されています。なお、現時点においては和歌山市での報告は認めていません。

また症状について、発熱は予防接種歴に関係なく出現しますが、発疹は予防接種を2回接種していた場合、約3割の患者で出現せず、3主徴を満たす症状が出現する患者は5割程度となっています。麻疹特有の症状が出現していなくとも、麻疹に感染している可能性があります。（図2参照）

図1 (令和8年5月8日時点)

麻疹累計報告数の推移 2019~2026年(第1~18週)



そのため早期の検査診断が重要です。貴院にて麻疹と臨床診断された（あるいは強く疑われる）場合は、直ちに保健所へ情報提供をお願いいたします。また、行政検査によるPCRを実施するため、検体採取（咽頭拭い液・血液・尿）のご協力をお願いします。

採取容器は、ご連絡をいただいた後、保健所から至急お届けいたします（お届けまでに30分から1時間程度を要します）。

※ 患者来院時に速やかに採取できるよう、事前に採取容器の配置を希望される医療機関におかれましては、あらかじめ保健所までご連絡ください。
 (健康危機管理班 488-5109)

【PCR検査用の検体採取】

①咽頭拭い液(ウイルス輸送用培地) ②血液(EDTA加全血 2mL) ③尿(滅菌スピッツ 10ml程度)

連絡先

平日：和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL (073) 488-5109

夜間・休日：和歌山市役所 警備室 TEL (073) 432-0001

図2 (令和8年4月21日時点)

麻疹症例の症状別・麻疹含有ワクチン接種歴別届出数 n=241

	2回接種 (n=73)	割合	未完了者 (n=168)	割合
発熱	72	99%	164	98%
咳	29	40%	113	67%
鼻汁	21	29%	70	42%
結膜充血	10	14%	66	39%
眼脂	2	3%	17	10%
コプリック斑	12	16%	63	38%
発疹	51	70%	151	90%
肺炎	1	1%	7	4%
中耳炎	0	0%	1	1%
腸炎	1	1%	11	7%
クループ	0	0%	0	0%
脳炎	0	0%	0	0%
その他	21	29%	23	14%
3主徴を満たす症例	34	47%	131	78%